

PEファンド投資の実務面の課題

貞 永 英 哉 CMA
 西 澤 整 CMA
 小 野 泰 宏 CMA

目 次

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. はじめに | 5. ミドル・バック業務の体制 |
| 2. PEポートフォリオの構築 | 6. 組織設計上の留意点 |
| 3. PEファンドの選別 | 7. ゆうちょ銀行での取組み内容 |
| 4. 新たなタイプのPE投資 | |

世界の大手機関投資家は、上場株式では得られない高い期待リターンと分散効果を求めて、PE投資に大規模に取り組んでおり、わが国においても年々注目が高まっている。機関投資家がPE投資を拡大するには、実務上の留意点が多く存在する。本稿では、PE投資を構成する重要な要素であるポートフォリオ構築、ファンド選別、ミドル・バック体制、組織設計に焦点を当ててPE投資業務の実務面の課題を整理する。



貞永 英哉 (さだなが ひでや)

㈱ゆうちょ銀行 執行役員 プライベートエクイティ投資部長。2016年入行。前職である日本生命保険(相)では、海外不動産投資の後、1999年よりPE投資に従事。米国現地法人のPE FoFプログラムを創設・運用、その後金融投資部担当課長としてオルタナティブ投資全般を統括、ニッセイアセットマネジメントにて商品開発部長、グローバルプロダクト部門統括部長等を歴任。現職ではプライベートエクイティ投資の責任者としてPE投資プログラムの設計、運営を主導。東京大学法学部卒業、ミシガン大学LL.M.、ニューヨーク弁護士試験合格。



西澤 整 (にしざわ ただし)

㈱ゆうちょ銀行 プライベートエクイティ投資部担当部長。2016年入行。前職である大同生命保険(株)では、プライベートエクイティ投資課長を13年から16年まで務める。それ以前はプライベートエクイティ専門の運用会社であるエー・アイ・キャピタルに8年間出向。出向以前は大同生命にてプライベートエクイティ投資、外国債券投資業務に従事。北海道大学経済学部卒業。



小野 泰宏 (おの やすひろ)

㈱ゆうちょ銀行 プライベートエクイティ投資部専門役。2017年入行。前職である三菱商事(株)では、一貫して金融事業部門に所属、米欧／中国での戦略投資及び事業開発の業務を幅広く担当。現職ではインフラ投資プログラムの設計、運営を主導。東京大学工学系研究科博士課程在籍 (技術経営戦略)。ハーバード大学大学院修士課程修了 (Master in Public Administration)。